

鹿児島県立 財部高等学校

学び舎よ ありがとう

鹿児島県立岩川高等学校

永い歴史に幕。

鹿児島県立末吉高等学校



# 県立財部高等学校



昭和 42 年

鹿児島県末吉高校  
財部分校の設置が  
認可。

昭和 23 年

昭和 25 年

農業科と家庭科の  
募集を停止。普通  
科を設置。

昭和 26 年

鹿児島県末吉高等学  
校から分離し、鹿児  
島県財部高等学校が  
独立。

昭和 31 年

校歌を制定。

昭和 47 年

普通教室、管理棟  
が完成。

平成 20 年

創立60周年記念式  
典を挙行。

平成 28 年

閉校式（67年間）



# 県立岩川高等学校



昭和 38 年

岩川町立鹿児島県  
岩川工業学校とし  
て創立。

昭和 16 年

昭和 19 年

鹿児島県岩川工業  
学校に改称。

昭和 23 年

鹿児島県岩川高等学  
校に改称。

昭和 47 年

機械科実習室完成。

平成元年

岩崎與八郎氏胸像建立。

平成 23 年

創立70周年記念式典  
を挙行。

平成 28 年

閉校式（74年間）



# 県立末吉高等学校



末吉高等女学校

大正 10 年

末吉村立実科女学  
校の設立が認可。

大正 13 年

鹿児島県末吉高等  
女学校に改称。

昭和 23 年

鹿児島県末吉高等学  
校に改称。

昭和 27 年

校歌を制定。

昭和 50 年

畜産家付属農場を現  
在地に移転。

平成 10 年

生徒制服改定。

平成 23 年

創立90周年記念式典  
を挙行。

平成 28 年

閉校式（94年間）





# 財部高等学校



旅立ちの言葉  
生徒会長 川路綾乃

身に染みる冬の寒さも次第に和らぎ春の訪れを感じるこの良き日に、私たち三年生一同は今日、この財部高校を卒業します。

言葉にすると簡単ですが年月が過ぎるのは本当に早く、あつというまにこの旅立ちの日を迎えることになりました。三年前の四月、着慣れない制服に身を包み、これから始まる高校生活に期待と不安を抱いて正門を通ったことが昨日のこのように思い出されます。今年例年と違い、私たち三年生だけではなく、六十七年もの歴史を刻んできたこの財部高校も、閉校というかたちで卒業をします。財部高校六十七年の歴史と、総勢六千二百五十人の同窓生の最後を飾る卒業生として、私たちが担う責任の重さを強く感じています。

入学当初は一つ一つの行事や出来事が初めてで、財部高校が三年後に閉校を迎えること知らながらもそのことについてあまり意識することはなかったように思います。しかし、一年二年と時が進むに

つれ、現実味をもってくるようになりまし。財部高校で過ごした三年間を振り返ってみますと、県高校音楽祭でのゴツタンの演奏、約二十キロにもわたる遠行、修学旅行、スポーツ大会と、刻んだ思い出は多く、この時間だけではとても語りきれません。中でも印象に残っているのは、閉校記念行事として行った高校最後の文化祭や体育祭、そして今年度閉校を迎える県内四高校が集まって開催された交流会です。特に体育祭では全校生徒二十八人に対し、約五倍にもなる百五十人の地域や同窓会の方々が、集ってくださいました。少ない人数では困難かと思われたプログラムも、役員や選手としてご参加いただき実施することができました。おかげで、卒業生、財部高校、どちらにとっても最後にふさわしい盛大なものとなり、大きな喜びを感じました。私たちの学校生活に鮮やかな彩りを加えていただいたことに、改めてお礼を申し上げます。

本日ご臨席を賜りましたご来賓の皆さま、これまで財部高校の歴史を見守り続けていただきありがとうございます。小さな学校ですが、いつも応援をいただいたおかげで、入学当初は思いもしなかった充実した学校生活を送ることが出来ました。

同窓会の皆さま、講演会や美化作業など、いつも私たちに先輩としての立派な背中を見せてくださいました。特に今年一年は、閉校に伴い様々な取り組みをしてくださいま

した。同窓会の皆さまのご協力のおかげで私たち二十八人は無事に卒業することが出来ます。ありがとうございます。閉校という寂しい言葉にはそぐわない、「絆」や「つながり」という言葉を実感した一年でした。今後も財部高校同窓生の仲間としてどうぞよろしくお願ひします。

お世話になった先生方。今年度は進路実現に向けた取り組みが本格的に始まり、ときには様々な困難にぶつかり、辛い涙を流したこともありましたが、今となってはそれも良き思い出の一つです。このことも踏まえ、私たちの高校生活が心に残るかけがえない思い出になったのは、いつも生徒の傍に寄り添い親身になってサポートしてくださりました先生方のおかげです。優しく、時には厳しく、一番近くで私たちを導いてくださいました。三年間、当たり前のように毎日受けていた先生方の授業が受けられなくなってしまうこと、卒業後のこの校舎に足を踏み入れても先生方がいらつしやらないことに寂しさを感じます。これからもお体に気をつけて、新しく出会う生徒のために頑張ってください。

本当にありがとうございます。お父さん、お母さん。これまでの十八年間、私は心配や迷惑をかけてばかりでした。私自身が答えを出さなくてはいけない問題でも、二人が我がことのように悩んでくれ、人生を決める進路の大事な時期にも苦勞をさせ、申し訳な

く思っています。それでもお母さんは毎日欠かさずお弁当を作って学校へ送り出し、お父さんは悩みを真剣に聞いてくれ、必要があれば詳しく調べて私にアドバイスをくれました。いつも見守ってくれたこと、今日この時まで私を育ててくれたこと、心の底から感謝しています。ありがとうございます。

四月からは私の周りの環境も大きく変化し、また頼ってしまふ場面があるかもしれせん。私自身もしつかりと課題に向き合い取り組むつもりですが、今後どうか宜しくお願ひします。

卒業生の皆さん、私たちは今日を限りに財部高校を卒業し別々の道に進みます。同時に財部高校六十七年の歴史が閉校というかたちで幕を閉じます。私たちがこれまで間に卒業された先輩方が、時間をかけて築きあげてくれたこの学び舎での歴史と思い出は、これから多くの人々の中に残り永遠に輝き続けることでしょう。これから自分の足で進む未来に不安がないわけではありませんが、一方で期待に胸を大きく膨らませている部分もあることでしょう。今は前を見て財部高校が私たちの母校であることに誇りを持ち、財部の財にふさわしく、胸を張ってこの学校の正門を出しましょう。

財部高校、さようなら、そしてありがとう。卒業生を代表し心から感謝を申し上げ、旅立ちの言葉とさせていただきます。

財部高校、さようなら、そしてありがとう。卒業生を代表し心から感謝を申し上げ、旅立ちの言葉とさせていただきます。

財部高校、さようなら、そしてありがとう。卒業生を代表し心から感謝を申し上げ、旅立ちの言葉とさせていただきます。



# 岩川高等学校

旅立ちの言葉  
生徒会長 渡邊明日香



※一部抜粋  
本日は、私達のためにこの  
ような盛大な卒業式を開いて  
いただきありがとうございます。  
また、校長先生をはじめ  
来賓の皆様から心のこもった  
言葉をいただき感謝していま  
す。

平成24年、岩川高校の閉校  
が決まりました。当時私たち  
はこの高校に進学するかを  
真剣に考えている時期でし  
た。新しい友人との出会い、  
自分の将来、自分たちが最後  
の学年になる後輩が入り高  
校生活、期待と不安が入り混  
じる特別な思いを抱き平成25  
年4月、私たちはこの岩川高  
校に入学しました。入学した  
時から「あなたたちは岩川高  
校のアンカーです」と言われ  
てきました。入学した当時は  
その言葉にピンとこず、まだ  
まだ先のことと思っていまし  
た。

校の四校でスポーツや学校紹  
介の交流会を行い、お互いに  
有終の美を飾れるよう最後ま  
でがんばろうと励ましあいま  
した。

9月6日の体育大会では、  
全校生徒で応援合戦を行い、ま  
した。電子機械科は生徒全員  
が男子でとても力強い演武  
を、普通科は女子生徒が多く  
凛としたやわらかい演武を披  
露しました。

10月25日の文化祭では、ゴ  
スペルグループのみなさんが  
岩川高校の校歌をアレンジし  
て歌ってくださいました。ま  
た、同窓会とPTAの皆様が  
ステージに参加してください  
私たちにエールを送ってくだ  
さいました。

また「岩高やごろう塾」と  
いう同窓生による講演会が3  
年間で9回行われました。活  
躍されている先輩方のお話を  
聞き、私たちもこの伝統ある  
岩川高校で学び卒業生となる  
ことができることを誇りに思  
い勇気をもらいました。

岩川高校は部活動も盛んで  
す。8割以上の生徒が部活動  
に参加しており、今年度はボ  
クシング部、メカトロ部が全  
国大会に出場しました。特に  
メカトロ部は部員2人の小数  
精鋭でありながら「やごろう  
君FINAL」という名前  
のロボットで県大会を勝ち抜  
き11月1日に三重県で行われ  
た全国大会で見事6位に入賞  
し「岩川高校 小なれと弱小  
ならず」を全国にとどろかせ  
ました。また6人で活動して  
いた野球部は、岩川高校最後  
の年、単独チームでの出場を  
目指しました。そして、その  
気持ちに共感した「史上最高  
の助っ人6名」が加わり単独  
チームでの出場を果たしまし  
た。7月14日、鹿児島市民球  
場、対戦相手は部員数50人以  
上を有する鹿屋工業高校。炎

天下の中、全校生徒職員そし  
てPTAや同窓生の応援に応  
える全力プレー、9回まで  
正々堂々と立派に戦った同級  
生を私たちは誇りに思いまし  
ました。私は吹奏楽部で活動しま  
した。岩川高校吹奏楽部は「地  
域おこしヒロイン・ヒーロー」  
をスローガンに掲げ、少人数  
ながらもボランティア活動や  
慰問演奏を行い、演奏を聴い  
てくださる皆さんに喜んでい  
ただけることを目標にしてき  
ました。なかなかうまくいか  
ない時に相談に乗り一緒に悩  
んでくださった先生方、陰な  
がら支えてくれた保護者の  
方々、そしてどんな時も共に  
励まし合い成長してきた仲間  
がいたからこそ3年間部活動  
を続けることができました。

吹奏楽を通して人と協力する  
ことの大切さを改めて実感し  
ました。

進路実現に向けての道のり  
はかなり困難なものでした。  
私自身は提出する小論文の完  
成に時間がかかってしまい期  
限までに提出することができ  
ない不安な気持ちでいっぱい  
でした。しかし、私には自  
分の進路実現のために頑張る  
仲間と一緒に考えて指導  
してください先生方がいまし  
ました。さらに家では相談に乗  
り励ましてくれる家族がいま  
した。そのおかげで自分の進路  
実現のため、あきらめずに頑  
張り抜くことができました。

この3年間を振り返るとみん  
なで協力し合いながら勉強や  
部活動、学校行事、進路実現  
への取り組みを乗り越えてき  
ました。学校行事での思い出  
とともに、毎日の授業、友達  
と一緒に食べたお弁当、休み  
時間のたわいもないおしゃべ  
り、日常の「コマ」コマみん  
など過ごした岩川高校での  
日々が私にとって一番大切な  
時間だったと感じられます。

私達の母校岩川高校は残念  
ながら、今年3月31日で閉校  
となります。これまでの卒業  
生15196名のみなさんが  
74年にわたって岩川高校とい  
う響（たすき）をつないでき  
ました。これまで岩川高校  
に関わったすべてのみなさん  
の思いが詰まった岩魂と書  
く「岩魂」の精神を受け継ぎ  
そして私達も無事にアンカー  
として走り終えることができ  
ました。岩川高校の最後の生  
徒として有終の美を飾り、閉  
校してからも地域のみなさん  
の心の中に残る岩川高校を作  
り上げるのができたと思ひ  
ます。そして「岩魂」という  
響（たすき）は統合された曾  
於高校のみなさんにたくしま  
す。今、私たちはこの先の人  
生への期待と不安が胸がいっ  
ぱいで複雑な心境です。しか  
し、岩川高校が母校であるこ  
とを誇りに思い「岩魂」の精  
神を胸に岩川高校校歌の最後  
の歌詞「務めを果たす人たら  
ん」のように世の中に貢献で  
きる人として私たち卒業生61  
名は61とおりの人生を一人一  
人精一杯歩んでいきます。  
づいといよいよ、お別れの時が  
近づいてきました。お別れの挨拶は「さようなら」ですが、  
私は「さようなら」は言いま  
せん。私は「ありがとう」の  
言葉を送ります。ありがとう  
3年間ともにがんばった仲間  
たち。ありがとう私たちを優  
しく支えてくださった家族の  
みんな。ありがとう私たちを  
岩高のアンカーとして導いて  
くださった先生方。ありがとう  
う地域の皆様。そして岩川高  
校に関係するすべての皆様。  
そして、ありがとう私たちの  
母校岩川高校。  
74年の歴史とともに岩魂よ  
永遠なれ。



# 末吉高等学校



旅立ちの言葉  
生徒会長 森岡千瑛

※一部抜粋

末吉高校が2016年に閉校する、ということをお知らせして入学したものの、入学時は閉校を意識することはありませんでした。どの高校とも変わらない学生生活だろう、卒業や閉校なんてまだ先だろうと思っていました。驚くほどあっという間に3年が過ぎました。その3年間に生まれてきた皆さんの出来事が、明日からも続いていくような気がして、今日、この場にいることの方が嘘のようです。

入学試験の際、今まで聞いたことのないチャイムに驚きました。慣れるまで時間がかかったはずなのに、もう聞き慣れてしまっていて、他校のチャイムを聞く違和感すら覚えます。また1年時から、体育の授業で行われた集団行動と、自分達の声のみで行うラジオ体操にも、驚きました。しかし3年間を経た今、もう体に染みついていきます。おそらく曲をかけずにラジオ体操ができるのはこのあたりでは末吉高校生ぐらいではないでしょうか。機敏な集団行動と

ラジオ体操は末高の自慢の一つです。

2年時には同じ敷地内に曾於高校生が入学してきました。末吉高校が、他の閉校する高校と異なった点は、ここにあります。1年目、行事も部活動も合同で行いました。同じ場所に二つの高校が存在することの状況に、お互い妥協しあうことも、いろいろな思いを抱くこともあったと思いますが、今となっては嬉しい状況をもっと豊かに、より愉しむこともできたのだと思います。

3年生に進学してからは、進路への取り組みに慌てる毎日、多くの行事が重なってきました。何をすることも閉校。最後・有終の、という言葉がまとわりつきましたが、一気に閉校感が増したことで私達の意気込みも、いつにも増して高まっていった気がします。今年度の体育祭には、保護者の方ばかりでなく、多くの先輩方や旧職員の先生方も駆けつけてくださり、競技にも参加していただきました。

応援団をはじめ、すべての競技が盛り上がり、参加しても見ても楽しい、その場にいる全員が一体となって成功させた体育祭だと感じた瞬間、涙が出てしまったことを覚えています。文化祭でも、私達だけでは運営できないところを保護者の方が協力してくださり、私達はそれぞれのステージ発表に全力を注ぐことができました。しかし、少人数だといふ負い目を感じない文化祭を行うことができました。

私達はこれまでの卒業生のように、母校を訪ね、先生方とお話をしたり、高校時代を

懐かしんだりしたかったのですが、それも叶いません。帰る故郷がないような感覚です。4月以降、あの自慢の集団行動やラジオ体操もこれからは先受け継がれることがないのかと思うと一気に寂しくなります。

しかし、私達は、閉校をきっかけとした楽しいことや嬉しいことも数多く体験できました。特に昨年6月に実施した、岩川高校、財部高校、高山高校との4校交流会。事前に幾度も各校の生徒会が集い、意見を出し合っており、学校紹介とスポーツ交流を実施しました。初めて会った人や、再会した中学校の同級生達と、学校という枠を越えて交流していく1日の中で、閉校を迎える立場としての同じ思いを知り、共有し、刺激を受け、元気をもらいました。また、地域の方も閉校することを御存知なので、末吉高校の生徒だと言ったり、最後まで頑張れど激励の言葉をいただいたり、体育祭に行くよ、とお声をかけていただいたりしました。

テレビや新聞の取材も何度も来ていただき、閉校前により多くの方に末吉高校の存在を知ってもらえたと思います。本当に私達にしかできない貴重な体験をさせていただき、本当に多くの方々を支えられて、一度しかない高校生活を有意義に送ることができました。

なかでもいつも私達の話に耳を傾けて、困ったときには助けてくださった先生方。毎日明るく過ごせたのも、様々な行事を成功させ、進路実現を達成できたのも、先生方のお陰です。愚かなことをしたり、反発をしたり、ご迷惑ばかりおかけしました。それでも最後まで支えてくださり、本当に感謝しています。

そして・・・お父さん、お母さん。私は今まで学校へ行かせてもらっている当たり前のことだと考えていました。その当たり前のことがどれだけありがたいのかも気づかず、いつも反抗ばかりして、言うこともろくに聞かず、困らせてごめんない。不満も苛立ちも、すべてを受け止めてくれて、反抗しても、結局優しくしてくれて、本当にありがたう。進路のことでも言い合いになっても、最後は自分で決めたことと認めて、応援してくれたこと、嬉しかったことを一緒に喜んでくれたことに、18年間育ててくれたことに、感謝しています。これから私達は、自分達の力で頑張ってみます。また心配を掛けてしまうけれど、少しだけ遠くから見守ってください。そして、困ったときには、少しだけ力を貸してください。

末吉高校は閉校を迎えますが、多くの方に見守られ、普通では体験できない体験をすることができた私達末吉高校生は、本当に幸せでした。ここで得たものを大切にして、夢への実現に向けて邁進してまいります。そして、ゆくゆくはこの末吉の地に、支えてくださるすべての方に、感謝の心をもって倍以上のお返しをしたいです。これからは私達卒業生自身が末高の歴史を刻んでいくことを誓って、旅立ちのことばといたします。

財部高校

岩川高校

末吉高校

### 3 高校の伝統 曾於高校 受け継ぐ



曾於高校生徒会長  
猪俣 夕貴

末吉高校、岩川高校、財部高校どの高校の先輩方も勉学、技術の向上に取り組み、それぞれの目標達成のために尽力されてきました。さらに地域とのつながりも大切に地域に愛される学校づくりに励んでくれました。

先輩方が作り上げてきた偉大な伝統を曾於高校はしっかりと受け継ぎます。そして先輩方ぜひ、今後とも様々な角度からアドバイスをください。曾於高校も先輩方のように地域に愛され、よりよく発展していただけるよう精一杯努力していきます。今後ともご助言とご協力をいただければありがたいです。

本当にありがとうございました。